

明倫

題字：榎村正直

平成十八年九月二十日発行
明倫自治連合会広報委員会
発行部数 2000部

今年 は 時代祭りの大当番

十月二十一日(日)

十月二十一日 日曜日(雨天順延に例年の時代祭が華麗に都大路で行われます。学区を代表して**百足屋町の酒井宏彰氏**が、**一番大将**に乘馬されます。明倫学区の皆様のご声援、ご協力をお願いいたします。今年度は明倫学区が大当番です。京都芸術センターで行列の準備から後始末まで致します。

祭事委員会・中尾

平安神宮の時代祭

秋の古都を彩る華やかな時代行列は、明治初年の荒廃した京都を回復させるため、当初は六行列でしたが今は八行列、2千人を越える時代絵巻です。

明倫は、城南やぶさめ列に今年十年に一度の大当番として参加いたします。**流鏑馬は矢伏射馬**とも云い、馬を馳せながら鏑矢を射的に当てる行事で、鎌倉時代に武家の儀式として盛んに行われました。

射手武士の服装は、狩装束で、狩衣かりぎぬを着て



流鏑馬姿の五人の大将 平安神宮にて

『時代祭りの大当番』

ついで

大当番とは十月二十二日の平安神宮の時代祭りに、明倫学区から鎌倉時代の射手武士五人の**総大将(一番大将)**を担当する年(十年に一度に当たっている)ということです。そもそも時代祭りとは平安遷都千百年を記念して行われた時代衣裳のパレードが発展したもので、その後京都市の肝いりで正式な時代考証を経た、衣裳の祭典として続いているという、百年以上の歴史を持っています。衣裳のひとつ一つは本格的な草木染めであり、鎧、兜から小物にいたるまで本物ですので、まさしく古代衣裳の染と織の祭典といえます。また、各時代の担当は京都市全域の旧学区や地域に割り当てられていて、京都市民奉仕の祭典として、明倫、本能、日彰、生祥、乾、郁文、成徳、格致、豊園、開智の十学区が回り持ちで一番大将から五番大将までを受け持つことになっています。そしてその**一番大将**に当たった学区は他の四人の大将以下の御供(二人に約三十人の**面倒をみる**という慣わしがあります。面倒をみるというのは二日前に行われる**足固め式**衣装合わせ、乗馬、激励会などの費用のすべてを持つということになりますので学区を揚げての一大行事といえます。

文責・長谷川

頭に引立烏帽子ひきたてえぼし その上に綾あや蘭らん笠かさ
射小手なつかげ 夏鹿毛なつしかげの行むかばき膝ひざをつけ
太刀たちを佩ひき 腰こしかた刀なたを差す
背せいに籠かごを負おい 征矢せいや五本ごほん 鏑かぶら矢や六本ろっぽんを盛もる
手袋てぶきをはめ右手みぎてに鞭むち 左手ひだりてに弓ゆみ 足あしに物射ものい沓くつを履はく

時代祭大当番の行事表

京都芸術センター (元明倫校)

十月二十日・足固め式

午前

各役の衣装を整理準備する

午後

騎馬大将(射手武士) 弓武者 童

お供三十二人の衣装合わせ

着付の練習 その後乗馬練習

夕 大将を役員より激励

十月二十二日・時代祭り

早朝 行列の準備を整えて

十時 京都御所へ出発

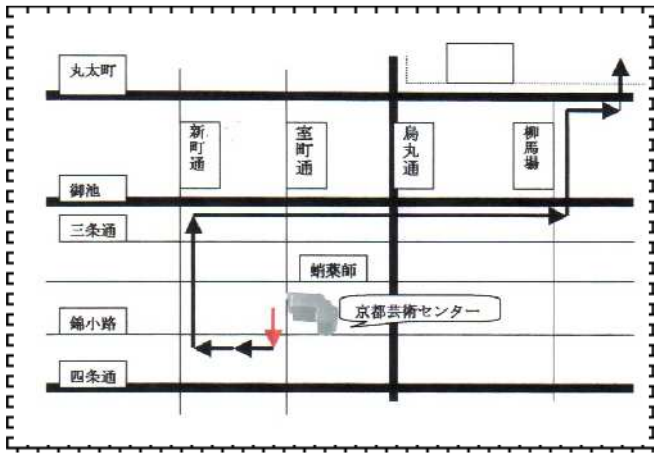
*御所参内図を見て下さい

正午 時代祭行列の先頭出発

堺町御門―烏丸丸太町―

河原町三条―三条神宮道―

平安神宮



バスにて明倫へ帰ります
十月二十三日 衣装その他の整理をして 来年の準備をします。

衣装の着付けを募集しております

武士のお供の30人の衣装です

募集人員は十名 ボランティアです
流鏝馬の装束は鎌倉時代で豪華絢爛
時代に忠実に復元されています
大変貴重な機会です 応募多数は抽選

十月二十日 午後二時より三時半

装束店による着付けの講習

十月二十二日 午前七時半より十時

烏丸御池付けと会場整理蓮原町お願
いします 出発は十時です

午後三時より五時 打上の準備とお帰
りのお迎え

同一人で二日出ていただきます

氏名 電話番号 町名 年令を九月二
十五日までに左記へ

明倫祭事委員会 中尾金次郎

錦小路通新町東入ル天神山町

電話 (221)1313

Fax (221)1370



<明倫らしいまちづくりのルール>とは?



変化が著しい明倫のまちなみ

マンションや飲食店などの増加、烏丸通沿道の
ビルの建て替えなど、変化が著しい明倫のまち。

自治連合会(まちづくり委員会)では、地区整
備計画(まちづくりのルール)づくりに向け、学
区のいろいろな立場の皆さん方で意見を交わしな
がら、皆で共有できるルールを考える場(仮称:
まちづくりルールを考える会)を作ります。

検討会に参加しませんか!

まちづくりルールを考える会(仮称)に参加し、明倫の
まちづくりについて考えてみたい方は、電話または FAX・
メール(町名、氏名、連絡先を明記のこと)にて、9月末日
までに下記へ。

明倫自治連合会 まちづくり委員会

井上 成哉(三条町)

電話 255-7926 FAX 255-7936

メール: mossgreen@h5.dion.ne.jp

※検討結果については、この7
月に京都市の都市計画として決
定された「まちづくりの目標と
方針」と合わせて、絵や写真を
使ってわかり易く編集した、“明
倫まちづくりのパンフレット”
を作成し、学区の皆さんや関係
者に配布する予定です。

明倫夏祭り

開催される！

九月九日

主催・社会福祉協議会&自主防災会



今年の夏祭りには通信病院から婦長さん以下十名の看護士さんが、新しくなった

救命活動の講習に来て頂きました。この日は大変蒸し暑く、自治連遊戯室は蒸し風呂状態でしたが、多数の参加者に、急救救命講習では従来の心肺蘇生法の心臓マッサージの新しい方法やAED(電気ショック)の設置場所、使用方法についてわかり易い説明があり、体験をすることで緊急の事態に対処できるような熱心に教えて頂きました。



また、中京消防署からは臨時食のアルファ米の炊き出しデモンストレーションがあり防

災・救命という日常に最も大切なテーマをそれぞれに体験できました。講習後は恒例になりましたバーベキューパーティが開かれ、鮎の塩焼き、ラム肉、ヤキトリ、マツタケにビール、ワインと豪華なメニューに参加者は大満足の一日でした。

記・長谷川



子供達の安心・安全に対するPTAの取り組み

地域の子供達を地域で守る(二)

子供達を巡る様々な社会的犯罪、または交通事故などが毎日マスコミメディアに掲載されています。

幸いにして当学区では大きな事件事故は起こってはいませんが、昨年の国勢調査によると、学区全世帯数の半数は共同住宅にお住まいの世帯と言うことです。

現在明寿会(代表五藤さん)と交通安全協議会(会長井上さん)が中心となつて、高倉小学校生徒の登下校時に、烏丸蛸薬師交差点などで、子供達を見守つて下さつてます。高倉小学校へ通学する生徒は、明倫学区からは約八十名を超えるそうです。今では、蛸薬師通りを通る子供達も、ようやく顔なじみになり、挨拶を交わしながら登下校をしているとの事です。

高倉小学校の島本PTA会長は『子供安全会議に地域の方々も参加していただき、子供たちの関係をより近いものにしていただきたい。また「朝の声かえ運動」により、地域ぐるみで学校・地域・家庭が連携・結束し、安全安心の高倉学区を築いていきたい』とメッセージを寄せられています。

御池中学校では、子供達を取り巻く社会的な地域環境の問題として、不審者の進入問題、インターネット・携帯電話に関するトラブル、薬物の使用問題

などを重点課題として取り組んでいます。

交通安全の問題では「中立売署の協力で交通安全教育を実施し、自転車通学を禁止しています。また近隣小学校の子供達に対しても、「お兄ちゃんお姉ちゃんとして優しく見守ること」と指導しています。御池中学校では「従来の住民と、マンションの住民との交流が課題となっており、生徒住居がどのようであるうとも、垣根無くつきあうことにしています。また生徒が地域活動へ参加するように、御池中学校ボランティアセンターを開設し、学区生徒中心にお手伝いをし、そのつながりを通じて保護者世代のつながりへと発展していくことを願っています。」とのことです。

竣工記念OIKEフェスティバル

御池中学校では九月二十六日は体育の部(運動会)に引き続き、十月二日・四日と文化の部(文化祭)が行われます。いずれも八時四十分から開始されます。十月三日は地域の方々も数多く参加され、尺八とお琴演奏、舞、に引き続き、明倫学区から「倫の会」コーラスが参加されます。

お茶席(三百円)や軽食(進々堂五百円等)も前売り食券(前もって地域で販売)などが開かれますので、是非ご参加下さいとのこと。なお、当日は上履きを持参下さい。

文責・井上

第十七回



「京ことばの会」

五月十七日



今回は明倫学区という範囲を超えて、現在では使われなくなってきた「京ことば」を一人でも多くの人に

その良さを知って頂き、また、伝えて行きたいという目的で活動されている、「京ことばの会」代表の中島さよ子さんに「京ことば」についての成り立ちや現状と「京ことば」を使っている南観音山にまつわる善財童子の朗読などを聞かせて頂きました。

京都に住む私たちにとっては何とも嬉しく、誇らしい話でした。また、『京ことば』の特徴として、敬語的な表現が多い一何にでも「お」を付ける、お豆さん、お腹、お居処(オイド)、御御御付(オミオツケ)等などや、母音を伸ばす「絵」上手やけど、字へたや、ナー」などがあり、『京ことば』『京都人』と聞き、持たれるイメージは、柔らかい物腰の中、人をけなす、あいまいな言葉使い等、マイナスイメージが多い様ですが、それは栄枯盛衰の時代を生き抜く知恵でもあったようです。勿論、褒め言葉として、ハンナリ(上品な華やかさ)「キサンジ」(快活)等もあります。



善財童子物語を京ことばで朗読

してみてくださいます。文責・長谷川

- ①あも②えずくろしい③えんばんと④かにこ⑤ぐつ⑥こーとな⑦すみくだ⑧じゅんさいな⑨しよーびんな⑩せつろしい⑪たんと⑫つろく⑬はしこい⑭へつる⑮のつこつ⑯へんねし⑰ほつこり⑱むさんこに⑲やくたいな⑳よーする



第8回 サンクタス 四条室町

所在地 中京区室町通錦小路下る菊水鉾町570番5

サンクタス 四条室町は、

平成13年(2001)6月 入居開始、鉄骨鉄筋コンクリート造、地上10階地下1階 建て、4LDK 13戸、3LDK 35戸、2LDK 11戸総戸数 59戸です。

マンションの特徴

お年寄りにやさしい「京都府福祉のまちづくり条例」適合マンション。格調の高い総タイル貼りで、四季を演出する草花と緑あふれるエントランスの寄せ植えや樹木に囲まれ、鯉山町と同様に緑の少ない室町通に潤いを提供しております。

エントランスホールとエレベータには、癒しをあたえるBGMが流れております。

管理組合の理事は、輪番制で、理事長、副理事長、監事、理事3名の6名で構成され、現在5期目で、年7〜8回理事会を行い、総会は年に一回開催しております。消防避難訓練は不定期ですが行い、緊急時のために中京消防署・明倫分団員の方に建物の構造、消防設備等を認識していただいております。

管理員は、月曜日から金曜日は9:00〜17:00、土曜日は9:00〜12:00勤務。

児童は未就学児が居られるのみで、子供の行事は現在ありません。



町内会・祇園祭・明倫自治連合会

との関り

町内会には、居住者個々ではなく、管理組合として町内会に入会しております。祇園祭とは、個々としては「ちまき」つくり等のボランティア、菊水鉾保存会への協力を行い、管理組合としては、毎年、町内会の指導のもと露天商との話し等を行っております。明倫自治連合会の行事への参加は、コミュニティボードを通じて呼びかけており、入居当初は、管理組合総会の会場に自治会館（幼稚園遊戯室跡）を拝借しております。

記・管理組合理事長 島崎

第十四回

鳥丸通

筈町

(たかな町)



四条通

町内探訪

町名を筈町(たかな町)と云う。「筈」の古名である。当町には、祇園祭山鉾の「基」「孟宗山」がある。支那「元」の郭居業編の二十四孝の一人、「孟宗」(二二〇〜二八〇)が雪中に筈を掘り当て病中の母に供した処母の病が癒えたという古事による。困み、「孟宗」公を御神体として祀っている。

その由来が町名になったと思われる。故くは、明応九年(一五〇〇)の祭り巡行の關定(くじさだめ)で十一番「まうそう山」と、八坂神社の前称、祇園社の記録にある。それより前、応仁の乱以前から「孟宗山」が祭りに参加していたようだが、定かな記録はない。

応仁の乱(一四六七〜八)、天明の大火(一七八八)、元治の兵火(一八六四)と幾度も大火により焼失したが、その都度町内在住の商店、豪商達の財力と信仰心、そして寄町や他地域の人々の浄財により再興され現在の形になったのは、明治初年からである。

元治の兵火の時は、孟宗山の「町宝」の保管を町内在住の人々に分散され、「町」の数々は焼失を免がれ現在に至っている。大正・明治になり、大火災に見舞われる度に、山の再興に尽力のあった町内有力者の土地が、大手金融機関の所有するところとなった。

それでも大戦後、暫くは町衆と呼べる住民は七、八軒を数え、地蔵が祀られている町会所で、町内在住の十名程の児

童の健やかな成長を願って地蔵盆が催された時期もあった。

しかし住民は減少し続け、今日現在では住民はゼロ、祭りの担い手としては、4・5軒を数えるのみであるが、町内会会員として、又、孟宗山保存会の委員として、町内在中の企業及びその従業員の方々の心強い支えにより「祇園祭・孟宗山」の諸行事、運営が可能になっている。

京都に住み、又、京都で営みをする人々や企業の、地元京都への感謝の想い「祭り」を支え、存続の原動力となっている事を思わずにいられない。

筈町・佐藤正司



DEKIGOTO

「祇園祭の地域・町家を共同研究」

〜京とアメリカの学生達〜

祇園祭の真つ最中、アメリカカボストンからMIT(マサチューセッツ工科大学・建築学科)の学生さん達と京都造形芸術大学・環境デザイン学科の学

生さん達が共同で、明倫の新町通で祇園祭・町会所、街並みなどを共同研究しました。日米建築研究の学生の共同作業を通じて、自らの文化の特質や、自分らしさを再発見し、文化の違いを超えた価値について考察する、というのが目的です。

七月十三日の鉾の曳き初めから彼らは参加しました。当日の新町通り、放下鉾、南観音山、北観音山と続く新町通りに眼を大きく輝かせていました。もちろん初めて見る祇園祭。まず鉾の大きさにびっくりし、またその鉾が、子供達の曳く力で、動き出すのにも驚いていました。十五日の夕刻からはそれぞれに浴衣を購入し、浴衣を着ての宵山見学。子供達と一緒に宵山情緒を満喫しました。ご厚意で北観音山にも上がらせていただきました。



十七日の巡行当日は八幡山で、大日様宅二階から間近に見る山鉾巡行を見て、盛んにシャッターを切っていました。次から次にやってくる、二階を遙かに超える

鉾の動き、またそれを見学する町の人達その日の京町家の装いなどに彼らの興味の尽きるころはありません。

十九日はハレの装いではない、普段の新町通りを隅から隅まで見学。その町内の成り立ち、京町家の構造など建築学専攻の学生達の鋭い視線が、飛び交っています。

そして二十五日のお昼から芸術センター大広間において、その研究結果発表がなされました。

Continuity/Transformation In Architecture And Community Form 建築と近隣住宅における連続性と変化」と題して模型展示とスクリーンを使った4グループによる発表です。

京都造形大学の「sensitive place」グループは、(祇園祭が産み出す交流空間の設置により、新たな人間空間が産まれる...)「team E」グループは「豆腐の概念を用い、空間として柔らかく開かれた京町家空間の提案」をされました。MITの学生達は、「seamless city」と



名付け、量の企画サイズを基に、祇園祭の際にはオープンになり、日常には閉められる、京都独

自の町家空間。そこから出発して路地空間も含めた布地の様に、縦横に織りなされた地域空間の提案をされました。

いずれも短時間で研究成果であり、その鋭い分析と地域空間設計の成果は素晴らしいものでした。

なお、この共同研究は今年度だけではなく、後二年間を通してなされます。

最後に学生達から、明倫学区の皆様方の心温まるご協力に対して、篤い御礼を述べられました。

文責・井上

忘れられた響コンサート

〜ペトロフ復活プロジェクト〜

六月二十五日の第8回はクラシックが



中心のペトロフコンサートですが今回は京大JAZZサークル・杉山貴裕ピアノトリオによるスタンダー

ドジャズ演奏という新しい試みがなされました。まだ若いトリオでしたが大変ソフイスケイトされた演奏に、ペトロフも期待に違わない音を奏でてくれ

ました。ピアノの杉山君も非常に弾き易いピアノだと語っており、「星に願いを」、「ジョージア・オン・マイマインド」、「オールオブユー」などの名曲に思わずスイングするひとときでした。時間の関係でアンコールが無かったのが残念でした。

続く九月九日の第9回は馬頭琴とピアノ

という大変珍しい組み合わせのコンサートに大勢の聴衆が集まりました。第一曲目の馬のイナナキにあっと驚くまもなく、骨太の雄大な馬頭琴が講堂内に響き渡りました。

奏者の福井さんは独学で勉強した後モンゴルに渡り、正式に馬頭琴を学ばれたということ。優しくも郷愁を誘う音色は大変心を和ませるもので、ペトロフを弾く植村さんとの呼吸もピタタリの見事なアンサンブルを聴かせてくれました。後半はホームミという発声法による演奏や「スーホの白い馬」という物語の朗読(星野祐美子)に合わせた馬頭琴の演奏など中央アジアの情緒を満喫できた演奏会でした。



馬頭琴・福井則之 ピアノ・植村照 写真提供・佐野春仁氏

大奮闘の明倫消防分団 祇園祭警備



七月十三日(木)は、器具庫から小型動力ポンプを搬出して、消防警備の詰所に模様替えをする。一段落してから救出出動に備えて担架を出し、出動する事が無いことを願って、担架の操作や実際に横たわってもらい確認を行う。

七月十四日午後7時ころ指令、救急出動で担架を持って烏丸蛸薬師へ、現場は下京区だったが救急車が立ち往生、レスキュー隊が搬送されるのを誘導し、救急車に乗せ転送の誘導を行う。その後もう一件出動。早々に救急出動に、イヤな予感がしたが、十五日に一件、十六日に三件、十七日に一件と計七件の救急出動があった。昼間は、十四日に午後から三班に分かれ中京消防署員と同行して各山鉾の収蔵庫検査に立会い、続いて放下鉾の消防訓練。夜は連日、各山鉾の町会所を巡視する。十五日の午後は、八幡山の消防訓練。そして、十六日は、夜の巡視後、南観音山のあばれ観音の特別警備と十七日は、雨の中の巡行当日新町通りの蛸薬師一錦小路間の警備を行い、事故もなく祇園祭消防警備は終了しました。

現在、明倫消防分団員は山鉾町内の方が多く、団員数も減り祇園祭消防警備が手薄になってきております。地域のために「力をかけてやろう」「何かの役に立つことをしたい」と思われたら、その力を消防団で生かしてください。毎月5日と20日は、無火災推進日で明倫消防分団詰所に、午後七時三十分～午後十一時ころまで待機しておりますので、お問い合わせください。 鯉山町・赤井又三郎

出動記録

- 七月十日午前二時半 五名
烏丸錦通西入る 発報事故
- 七月十一日午前二時 三名
錦通西洞院東入る 発報事故
- 八月二十二日午前二時 三名
三条通西洞院東入る 発報事故

ふれあいいきいきサロン



六月二日社協主催のふれあいいきいきサロンが開催されました。今回は学生の吉見さんが社会福祉士研修の為に明倫学区の社共の活動に参加されました。お年

寄りに混じって一緒にじゃんけんぽんゲームに参加したり、すこやかたいそ

うや食事をしたり、すっかり解け込んで皆さんの社会福祉に關連した質問にマンツウマンで答えておられました。じゃんけんぽんゲームでは30名程の参加者がそれぞれに手渡された首飾りを首からかけます。なんとその首飾りには5円玉が輝いているのですよ。一対一でじゃんけんして負けた人は勝った人とその首飾りをかけてあげます。勝った人同士でまたじゃんけんしてそれを繰り返し最後に勝った人の首にはなんと30個の5円玉首飾りが重そうに輝いていました。皆さんもやってみたいいかがですか。たのしいですよ。一方、舞台裏では参加者の皆さんに楽しんでいただくとうと、会場の設営、飲み物や食事の準備、ゲームの段取り等、慌ただしく動き回るスタッフの皆様の活力と笑い声に包まれておりました。ちなみにスタッフの皆様の平均年齢は??です。(写真参照) 記・佐藤

今年の祇園祭一言

もー 雨 雨 雨、衣装の袴もすくよれよれ、それより山鉾の懸飾品の後かたすけもー 大変でしたー引き手の綱までながなが乾かす、なんとカビが生える始末もー 大変！ 南観音山保存会



ラジオ体操

遅い梅雨明けで心配されましたが、例年通り少年補導委員会の主催により7月25日から8月9日まで朝7時15分より行われ、約七十人の子供と大人が体力を鍛えました。

インフォメーション

明倫大運動会のお知らせ

明倫体育振興会

平成十八年十月八日(日) 午前九時から芸術センターグラウンド(元明倫小)で行います。

町内回覧で、町内単位で申し込みを受け付けております。本年度も、すべて個人参加です。競技種目に名前を書いて回覧してください。昨年度玉いれだけでも百五十人以上の参加者でした。

今年も防災や交通安全からの競技もあり盛りだくさんです。奮って走って、いっぱい商品ゲットしてください。

ラジオ体操

連日の晴天の下、毎日七十名から八十名の大勢参加ありがとうございます。

自主防災からのお知らせ

自主防災の基本的な活動とは、大災害から

自分の命は自分で守る。

家族を助ける。

お隣さんの安否確認。

お町内で助け合つ・・・であります。

そして、私たち明倫自主防災会は

『自分の命は自分で守る』

『家族と隣人を守る』

を町内の人に知らしめる事、

それが重要な任務なのです。

さて、現在当会は、防災マップを今年度中に完成させることを目指しています。各町の防災部長・副部长様は大変御面倒だと思いますが、作成の御協力をお願いします。

作成の段取り等の連絡は追々させて頂きます。次に、救命訓練・AED等の訓練の日が決まりました。

- ① 十二月十六日(土)
- ② 一月二十七日(土)
- ③ 二月十七日(土)

計 3 回訓練を各午後二時～五時まで旧明倫幼稚園遊戯室でいたします。

もしもの時に大変役にたちますので、この機会に是非参加して下さい。機器や道具等も進歩なり改良されますので、一度された方も、初めての方も老若男女は問いませんので、ぜひこの機会に訓練して下さい。もちろん講習は無料です。

自主防災会 道家秀明(観音堂町)

芸術センタースケジュール

継ぐこと・伝えること番外編

「きりしとほろ上人伝」

本年度は芥川龍之介の短編「きりしとほろ上人伝」を茂山あきら演出により舞台化。役者と人形が共に演じる今回の舞台。浄瑠璃も現代語の口語体にして上演し、伝統文化の創造の試みを行います。また、主役を能役者と狂言役者のダブルキャストで配役し、その演じ方における持ち味の違いにも着目する意欲作。前半二日は大江信行が、後半二日は茂山童司が務めます。ご期待ください。

主役(ダブルキャスト)
大江信行(能楽シテ方観世流)

九月二十七日、二十八日

茂山童司(能楽狂言方大蔵流)

九月二十九日、三十日

出演：竹本駒之助(女流義太夫)

鶴澤津賀寿(女流義太夫三味線)

吉田勘緑(人形浄瑠璃文楽座芸員)

日時：九月二十七日(水)～三十日(土)

全て19:00開演(18:30開場)

*ダブルキャストセット券は京都芸術センターのみで販売

(日時指定を窓口で)

前売二五〇〇円(日時指定)

当日三〇〇〇円

高校生以下五〇〇円(前売日時指定)

当日共

ダブルキャストセット券四〇〇〇円

*大江信行出演分一回+茂山童司出演分一回

演分一回

(日時指定を窓口で)

*ダブルキャストセット券は京都芸術センターのみで販売

センターのみで販売

百花譚乱

能の素譚の会です。

十月六日(金)「千手」

十二月二十日(水)「自然居士」

いずれも19時開演。

会場：大広間

料金1000円



明倫人①

明倫小学校の出身者で現在活躍中の人物を紹介するシリーズです。

第一回目は演出家・俳優として世界中を飛び回っている演劇倶楽部『座』の主権者「壤 晴彦」さんを紹介いたします。彼は一九四八年、京都生まれ、同志社大学卒業後、劇団「四季」の正劇団員を経てフリーで活躍されています。八五年の蜷川「マクベス」を皮切りに度々海外公演に参加、「オイデプス」初め多数のシェイクスピア戯曲に出演、九二年より演劇倶楽部『座』を設立して若手の指導、現代版浄瑠璃「詠み芝居」の公演活動に意欲的に取り組んでおられます。彼は数々の海外公演と自らの狂言修行経験から今、日本人の言葉や文化の崩壊に大いに危惧を抱いており、それが演劇倶楽部『座』の設立に繋がっていると語っています。日本文学を持つ魅力を素直に伝えるために原作を脚色せずに朗読する芝居「詠み芝居」で彼は忘れかけている日本語の美しさをもう一度知ってほしいと意欲を滲ませて語ります。



詠み芝居 「鶴八鶴次郎」 川口松太郎原作

構成・演出 壤 晴彦

出演 壤 晴彦 金子あい

内山森彦 井上 康

特別出演 人間国宝 鶴賀若狭掾(新内浄瑠璃)

十一月二六日(日) 京都府立文化芸術会館

午後3時開演

料金 5000円(前売り) 5500円(当日)

明倫レコード倶楽部

十二月十日(日) 14:00

モーツアルト生誕二百五十年記念「SPレコード モーツアルト名曲集」

百花譚乱・明倫レコード倶楽部共に、

電話、FAX、Emailのいずれかの方法

で京都芸術センターまでお申込ください。

TEL 075-213-1000
FAX 075-213-1004
E-mail: info@kac.or.jp

飯田茂実の「お8 現動力」鑑賞ツアー

京都芸術センターで制作されたツアーの公演を観劇するツアーです。

十月一日(月) 13:00・16:30

二五〇〇円(お申込は京都芸術センター075-213-1000まで)

13:00 地下鉄松ヶ崎駅改札前

定員十名

編集後記

今年の祇園祭は終始雨に祟られました。けれども予定通り決行の心意気。また十月には時代祭で明倫は十年に一度の大事な番です。この熱気をまらづくりに活かし、風格のある明倫のまらちを作りたいと思います。

河野